

# 令和4年度 学校園評価(関係者評価)シート

学校園名	加古川市立東神吉こども園
------	--------------

**1 教育目標** 「わくわく心 いきいき体」

**2 指導目標**

- ・基本的な生活習慣を身に付け、健康な心身を育む。
- ・いろいろな人と関わる喜びを感じ、信頼感を育てる。
- ・身近な自然とふれあい、好奇心や探求心を育む。
- ・どんなことにも挑戦し、やろうという意欲を育てる。

**3 重点目標**

- ・基本的な生活習慣を身に付ける。
- ・身近な自然に親しみをもつ。
- ・自分らしさをのびのびと表現する。
- ・友達や保育教諭と一緒に遊ぶ楽しさや思い切り体を動かす心地よさを味わう。
- ・最後まで諦めずにやろうとする意欲をもつ。

**評価基準**

A:できている                      B:だいたいできている    C:あまりできていない                      D:できていない                      E:わからない

重点目標	評価項目	達成状況	成果(・)と改善の方策(○)
基本的な生活習慣を身に付ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康的な生活の仕方を知る。</li> <li>・自ら進んで挨拶をする。</li> <li>・自分でできる身の回りのことをする。</li> <li>・苦手なものでも食べてみようとする。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手洗いや消毒が習慣付き、給食時などのアクリル板の設置や黙食もできるようになった。</li> <li>・PTA役員を中心に行った挨拶運動も浸透し、他のクラスの園児にも保育教諭以外の職員にも、自ら挨拶する姿が見られた。</li> <li>・苦手な食べ物が多い園児もいるが、個々に応じた量を決め、少しずつ食べられるようになった。</li> <li>○年齢にあった生活の仕方を丁寧に伝え、身に付くようにしていく。</li> <li>○苦手なものも食べてみようと思えるように、野菜を栽培したり栄養や自分の体について知る機会を増やしたりして、食事に関心をもてるようにする。</li> </ul>

自己評価の適切さ(関係者評価)	達成状況
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学生とは朝の登校時にふれあう機会があり、挨拶を交わそうとするが、学年が上がるにつれて恥ずかしさから消極的になっている。園児たちは、元気に挨拶を行えているようなので、このまま継続して行ってほしい。</li> <li>・偏食が多くなっているのは、生活の中で実感する機会がある。アレルギーの問題や食生活が豊かな時代になり、指導の仕方は難しくなっていると思うが、毎日の給食を経験する中で様々な食べ物の味や、栄養のはたらきも知ってほしい。</li> </ul>	A

<p>友達や保育教諭と一緒に遊ぶ楽しさや思い切り体を動かす心地よさを味わう</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな遊びを通して多様な動きを体験する。</li> <li>・友達や保育教諭に親しみを持ち、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。</li> <li>・友達との関わりを通して、互いの思いや考えに気付く。</li> </ul>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染症対策として各クラスでの遊びが多くなり、交流を図ることが少なかったが、感染症が落ち着いている時期には、行事や交流の持ち方を柔軟にして対応した。</li> <li>○感染の状況を見極めながら、異年齢との関わりを深められるような機会を増やしたい。</li> <li>○自分の思いばかりを主張するのではなく、相手の思いにも寄り添えるような関わり方を促していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町内会などの行事も感染症を考慮して控えた方がよいのではという意見もあったが、やってみれば「良かった」という感想が聞かれた。園でも「やらない」のが当たり前にならないように対策を講じながら交流をしてみようか。</li> <li>・自分の意見を言って、喧嘩をする経験をしなくても大人になっても自己主張できない。協調性は後から育つのではないか。考えをまとめて、相手に伝えられるような環境作りが必要。</li> </ul>	<p>B</p>
<p>身近な自然に親しみをもつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然に触れ、それを使って遊んだり、興味や関心を広げたりする。</li> <li>・自然の不思議さを感じ、調べたり確かめたりする。</li> <li>・生きものと遊んだり、世話をしたりする中で生命の尊さに気付く。</li> </ul>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・園庭にダンゴムシやおむしなどの小動物が現れるようになり、見つけたり世話をしたりして、身近に感じながら継続して触れ合うことができた。</li> <li>・園庭に積もった雪で雪だるまを作ったり、水を入れておいて氷を作ったりして自然事象の不思議さを体験した。</li> <li>○次年度に繋がるように、計画的に親しみのわく花や野菜を育てる。</li> <li>○自然に触れ、発見や感動を味わえるような環境を準備していきたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な自然の中で、生き物や草花、自然事象にふれあい、様々な体験をしてほしい。</li> <li>・近くの多目的広場も使用可能なので、交通安全に気をつけて、活用してみようか。</li> </ul>	<p>B</p>
<p>最後まで諦めずにやろうとする意欲をもつ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分なりの目標に向かっていろいろな遊びに挑戦し、できた喜びや達成感を味わう。</li> <li>・難しいことでも自分なりに考えたり、工夫したりして取り組み、満足感や達成感を味わう。</li> </ul>	<p>A</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹馬やパカポコに何度も挑戦する姿を最後まであきらめないように励ましたり認めたりしたことで、喜びや達成感を味わえる経験につながった。</li> <li>○園児が挑戦したりイメージしたりできるように、多様な素材や用具を準備し、すぐに取り組めるような環境を整えておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できたことの喜びを感じてほしい。「～ができるようになりたい」と思って一生懸命に頑張ったり、努力したりしてできた時の嬉しさは何年経っても忘れない。この時期の子ども達が経験できるように支えてやってほしい。</li> </ul>	<p>A</p>
<p>自分らしさをのびのびと表現する</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びや生活の中で感じたことや、考えたことを伝えたり、作ったり、演じたりして表現する。</li> <li>・心を動かす出来事にふれ、友達に伝えたいと感じたり、表現したりする喜びを味わう。</li> </ul>	<p>B</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをもたない、出し切れない園児の姿があった。園生活の中で様々な経験をし、友達と関わりながら、思いや考えを伝えあう喜びを感じられるような関わりに努めた。</li> <li>○日常での話し合いや遊びの中で自分らしさを表現しながら、相手の思いや良さも認め、思いを共有できるように支えていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生が一番やりがいを感じる事ができる場面ではないか。一人一人個性は千差万別である。この時期は家庭環境の影響も大きく、どんどん成長している最中だ。何でも一緒にレベルにするのではなく、できることや好きな分野を伸ばしてやってほしい。</li> <li>・思いやりをもてる子になってほしい。一人では生きていけないので、相手のことを思える子になってほしい。</li> </ul>	<p>B</p>